

# 平成30年度 学校関係者評価報告書

学校名：名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校

## 1 学校目標

- ・本学園の建学の精神である、社会から喜ばれる知識と技術を持ち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し、科学技術・文化の発展に貢献する。
- ・知識・技術といった学生個々の能力を引き上げると共に、品格とホスピタリティ精神を兼ね備えた魅力ある人材を育成する。
- ・「夢をかたちに」を実現する。

### 学校目標に対する評価・意見

- ・ディプロマポリシーをはじめとし、資格というゴールを目標とした学生にも分かりやすい3つのポリシーが掲げられている。
- ・専門知識、プレゼンテーションスキル、コミュニケーションスキル修得のための充実したカリキュラムが設定されており、評価に値する。
- ・学校自己評価について適切な評価がされており、具体的な取り組みや改善が明確で、十分な効果が期待できる。

## 2 学校自己評価報告書について

学校自己評価報告書基準	学校自己評価報告書についての評価点の平均（4段階で評価）		
	自己評価の結果が適切か	改善に向けた取組みが適切か	今後の改善方策が適切か
基準1（教育理念・目標）	4	4	4
基準2（学校運営）	4	3.5	3.5
基準3（教育活動）	3.8	3.8	3.8
基準4（学修成果）	4	4	3.8
基準5（学生支援）	4	3.5	3.3
基準6（教育環境）	4	4	4
基準7（学生の受入れ募集）	3.8	4	4
基準8（財務）	4	3.8	4
基準9（法令等の遵守）	4	3.5	3.5
基準10（社会貢献・地域貢献）	4	3.8	3.5
基準11（国際交流）	4	3.8	3.8

## 3 今後の改善意見

- ・限られた授業期間ではあるが、より学生が主体的に学ぶ力を身に付けられるカリキュラムの充実を期待する。
- ・これまでも航空業界への人材輩出の素晴らしい実績があるが、男子学生、留学生など人材育成の拡充をお願いしたい。
- ・退学率を下げるため問題点を追及し、毎年退学率4%以下を目指していただきたい。
- ・学生が安心、安全な環境で学べるよう随時改善していただきたい。
- ・教職員のスキルアップのための環境を整備し、常にトップレベルの教育内容を目指していただきたい。

## 4 今後の具体的な改善方策

- ・英語力（特にスピーキング）向上のため、外国人講師とのオンライン英会話を継続して積極的に行う。
- ・教務科主催の研修会を行い、教職員のスキルアップを図る。
- ・学生自ら進んで主体的に動くということを教育目標の一つにしているため学校行事などもその目的達成のために活用しているが、資格取得等の勉強時間確保に影響がないように各担任には各クラス学生の状況把握及び、適切な指導等を周知徹底したい。
- ・専門的能力の向上を目的に専門性の高い実務経験者を講師として配置したり、実際の実務で必要な最新の知識・技術等を身につけるために、企業と連携した企業内研修（インターンシップ）や実習などを今後も積極的に授業内容に取り入れていきたい。